

**製品名: 活性カスパーゼ 3 (2M18) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06554**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CASP3
別名	Apopain precursor; Cysteine protease CPP32; ICE3; CASP-3; CPP32; Caspase-3; SCA-1;
遺伝子 ID	836.0
SwissProt ID	P42574
免疫原	ヒトカスパーゼ 3 の組み換えタンパク質

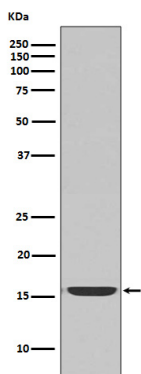
**背景**

カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性なプロ酵素として存在し、保存されたアスパラギン酸残基においてタンパク質分解を受け、大小2つのサブユニットを生成します。これらのサブユニットは二量体を形成し、活性酵素を形成します。アポトーシス実行を担うカスパーゼの活性化カスケードに関与しています (PubMed:7596430)。アポトーシスの開始時には、ポリ (ADP-リボース) ポリメラーゼ (PARP) の [216- Asp-|- Gly-217] 結合をタンパク質分解的に切断します (PubMed:7774019)。ステロール調節エレメント結合タンパク質 (SREBP) を、基本ヘリックス-ループ-ヘリックス構造のロイシンジッパードメインと膜結合ドメインの間で切断し、活性化します。カスパーゼ 6、7、9 を切断し活性化する (PubMed:7596430)。ハンチンチンの切断に関与する (PubMed:8696339)。RET 切断を介して交感神経細胞における細胞接着を誘導する (PubMed:21357690)。酸化ストレスに応答してセリン / スレオニンタンパク質キナーゼ AKT1 を切断し阻害する (PubMed:23152800)。XRCC4 およびリン脂質スクランブラーゼタンパク質 XKR4、XKR8、XKR9 を切断し、アポトーシス細胞表面におけるホスファチジルセリンの露出を促進する (PubMed:23845944、PubMed:33725486)。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



カンプトテシン処理した Jurkat 細胞溶解物における活性カスパーゼ 3 発現のウェスタンブロット分析。